

<文化施設における資料の活用等について>

(資料の内容)

	内 訳	寄贈	購入	発掘	その他	合計
資料数	版画	10,296	11,209	0	0	21,505
	原版、原画、プレス機等資料	228	0	0	0	228
		10,524	11,209	0	0	21,733
成り立ち、収集方針	<p>町田市立国際版画美術館条例第1条 内外にわたる美術・文化の交流の場として、版画を中心とする幅広い活動を展開し、市民の美術に関する知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の発展に寄与するため、町田市立国際版画美術館を町田市原町田四丁目28番1号に設置する。</p> <p>町田市立国際版画美術館条例第2条(1) 内外のすぐれた版画を中心とした美術作品及び美術に関する資料を収集、保管、展示すること。</p>					
分類(内訳)ごとの特徴・特色	<p>日本の版画 70%、海外の版画 30% 近・現代の版画 約80% それ以前の版画 約20%</p> <p>町田ゆかりの版画家・美術家: 畦地梅太郎、若林奮、柄澤齊、門坂流、田中陽子、三井寿、飯田善國、松本旻、坂東壮一等 総計約1,500点</p>					
評価額	約 30 億 円					
特色のある(貴重な)資料	全体的特色: 奈良時代から現代まで、日本・海外を問わず、版画を包括的に扱う日本で唯一のコレクション					
寄贈・発掘等今後の見通し	当館では準備室発足当初より多くの寄贈をいただいていたが、近年では当館の知名度の向上と活動実績への評価を反映しさらに増加している。寄贈の特長としては作家自身、あるいはその家族からの寄贈が多いこと。これは、日本は「版画家」という肩書きを持ち活動する美術家が大変多く、その意味で版画大国といえることを反映している。また近年では個人収集家による世界各国の作品の寄贈も増えてきており、今後もさらなる増加が見込まれる。					

(保管状況)

	場 所	広 さ	課題(空調の有無等)
収蔵庫	版画美術館2階	399.5㎡	空調有: 温度22°C、湿度50~55%で維持
整理状況	<p>保存と収納スペース確保の両面から、作品は額に入れず中性紙のマット装で収蔵している。収蔵庫内の構造は、版画専門という明確な目的のために設計されたもので、マット装保存の作品を納めるための棚を多く設置してある。そのため版画作品にとっては、効率よく多くの作品が収蔵できるようになっている。収蔵形態としては、マット装作品を専用の保存箱に7~8点づつ納め、箱を棚に積み上げるタイプとマップケースに収めるタイプがある。この2タイプのうちマップケースが設計時の設置予定より少なくなっているため、効率化が図れておらず課題となっている。</p> <p>また1辺が1.5mを越える大型作品や額装のまま保存しなくてはならない作品が近年とみに増加傾向にある。額装保存の大型作品は現在、専用ネットに掛けて保管しているが、スペースがまったく足りないので、対策が必要である。</p> <p>いずれにせよ、収蔵総数は年間数百点~千点規模で増加しており、さらに工夫して収納スペースを確保する必要がある。</p>		
保管状況による資料への影響	当館収蔵品はその90%以上、つまり大半の作品が紙を支持体とする。したがって収蔵庫の温湿度は紙作品にとって最適な数値で保っているため、紙以外の作品(例: 漆、刀剣、陶芸、ガラス、布等)には適していない。		

(活用状況) 所管外からの借用依頼(2000年以降)

年度	依頼者名	展覧会名	資料の種類	出展数	備考
	別 紙	参 照			

(課題)

<p>今後の収蔵品増加に備え、棚やマップケースを増設する必要がある。 大型額装品のためのネット設備も増設する必要がある。</p>

展覧会貸出作品 (2004年) 14件/75点

展覧会名	会場	会期	作者名	作品名
谷中安規の夢 シネマとカフェと怪奇のまぼろし	渋谷区立松濤美術館 須坂版画美術館 宇都宮美術館	2003年12月9日～2004年2月1日 2004年4月27日～5月23日 2004年6月6日～7月4日	谷中安規 谷中安規 谷中安規	忘却の譜 版木 朝鮮『朝鮮画集』より 版木 年賀状 『現代版画』11集、15集
20世紀版画芸術の精華・ピカソ、 マティスからウォーホルまで	群馬県立館林美術館	2004年4月17日～6月13日	ロバート・ラウシェンバーグ ロバート・ラウシェンバーグ ロイ・リキテンスタイン	カードボードⅡ カードボードⅢ いい夢でも見ている、ベイビー!
木でつくる美術	群馬県立館林美術館	2004年5月26日～9月5日	橋本周延 月岡芳年 川瀬巴水 川瀬巴水 川瀬巴水 川瀬巴水 川瀬巴水 川瀬巴水 畦地梅太郎 畦地梅太郎 畦地梅太郎 齊藤清 齊藤清 日和崎尊夫 日和崎尊夫 柄澤齊	『真美人』より「廿五」ほか2点 『新柳二十四時』より「午前三時」ほか2点 神田明神境内 桜田門 明石町の雨後 荒川の月(赤羽) 滝の川 馬達の月 妙義山 山のある日 遠い山 凝視 会津の冬 KALPA-X 像 『肖像』より「Ⅷ ルカス・クラナツハ」ほか2点 複製・喜多川歌麿『高名美人六家撰』より「難波 やおきた」順序摺り版木セット
日本の版画・1931-1940・ 棟方志功登場	千葉市美術館	2004年8月31日～10月3日	阿部金剛 内田静馬 北村謙次郎 駒井哲郎 須田國太郎 田坂乾 谷中安規 永礼孝二 野村俊彦 平川清藏 藤牧義夫 ワルワーラ・ブブワ 武藤六郎 山口進 料治熊太	『刀の跡』3集、4集 『白と黒』19号、33号 『白と黒』(第二次)1号 『白と黒』(第三次)3号 『版芸術』12号、13号、3巻8号、3巻10号 『郷土玩具集』1輯 『土俗玩具集』1号 『おもちゃ絵集』1輯 『版ゑ』創刊号、2号 題名不詳 厨房静物 花と人形 丸の内風景 テロスのターロスのトルソー 北京の家 『FOU』 水門 街 『小品版画集・清蔵木口版画集』(全8点) 給油所 『葬儀屋』 『武藤六郎版画集(第1輯)』より「清洲橋」ほか1点 東宮賜杯を持てる織田幹雄氏像 朝鮮
銅鑄にみる文明のフォルム～ 『米欧回覧実記』挿絵銅版画とその時代	久米美術館	2004年9月2日～10月31日	オットマン・スモリック	尾上菊五郎
明治の世相 ～浮世絵と写真でたどる明治ニッポン～	たばこと塩の博物館	2004年9月11日～10月24日	豊原国周 豊原国周 三代歌川広重 小林清親 紅英齋 鍋田玉英 三代歌川国貞	東京高橋風涼図 『開化人情鏡』より「勉強」ほか2点 東京名所之内 銀座煉瓦造鉄道馬車往復図 帝国議事堂炎上之図 東京名所 日本橋京橋之間鉄道馬車往復之図 東京名所江戸橋郵便局真景 大日本帝国政府日本銀行全景

展覧会名	会場	会期	作者名	作品名
HANGA 東西交流の波	山口県立萩美術館・浦上記念館	2004年9月11日～10月24日	伝円山応挙	蘇州景 新造萬年橋
	東京藝術大学大学美術館	2004年11月13日～2005年1月16日		西湖十景
	三重県立美術館	2005年2月11日～3月27日	伝円山応挙	三十三間堂大矢数
			伝円山応挙	京三条大橋
			歌川豊春	加茂競馬図
			歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図
			歌川豊春	御大名行列の図
				反射式覗き眼鏡
				サロン図
				市長の館
				ヴェネツィア総督府
			亜欧堂田善	二州橋夏夜之図 (ほか1点)
			フェリックス・ブラックモン	たげりと小鴨
			フェリックス・ブラックモン	みなれぬ奴
			ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	イタリアの思い出
			ジャン・バティスト・カミーユ・コロ	イタリアの思い出
			シャルル＝フランソワ・ドービニー	牧場の羊、朝
			シャルル・メリヨン	屍体公示所
			オットマン・スモリック	坂東彦三郎
			オットマン・スモリック	尾上菊五郎
			小林清親	明治二十四年二月十一日夜大火 久松町ニ而見る出火
			平塚運一	『東京震災跡風景』より「築地」(ほか1点)
				『マヴォ』2号
			フェリックス・ヴァロットン	大騒ぎ、あるいはカフェの情景
			アンデシュ・ゾーン	エルネスト・ルナン
			ジェームズ・ホイッスラー	ブラック・ライオン埠頭
			ジェームズ・ホイッスラー	フラム
			棟方志功	『二菩薩釈迦十大弟子』(全12点)
			吉田穂高	Landscape-水辺の神話-
			山口啓介	蕨の記憶
ヨーロッパ幻想の系譜	姫路市立美術館	2004年9月11日～10月24日	ウジェーヌ・ドラクロワ	『ファウスト』より「空を飛ぶメフィストフェレス」(ほか4点)
	高崎市美術館	2004年11月6日～12月15日	J.-J. グランヴィル	『もうひとつの世界』より「四月の魚」(ほか3点)
			アルフォンス・ミュシャ	『エスタンプ・モデルヌ』より「サロメ」(ほか1点)
			アンリ・ファンタン＝ラトゥール	神々のたそがれ ジークフリートとラインの娘たち
			アンリ・ファンタン＝ラトゥール	ローエングリン序曲
			マックス・クリンガー	『手袋』より「行為」(ほか3点)
			オットー・ディックス	『戦争』より「死の舞踏 西暦1917(死者たちの丘)」(ほか1点)
開館30周年記念 西洋の誘惑	群馬県立近代美術館	2004年9月18日～11月3日	フェリックス・ヴァロットン	街頭デモ
			フェリックス・ヴァロットン	『万国博覧会』より「カイロ通り」(ほか1点)
			エゴン・シーレ	『エゴン・シーレの版画』より「しゃがむ女」(ほか1点)
リキテンスタイン版画の世界	名古屋市美術館	2004年9月18日～11月7日	ロイ・リキテンスタイン	月の景観 夢想
市制施行50周年記念 牛島憲之と昭和前期の絵画 -抽象と具象のあいだ	府中市美術館	2004年10月9日～11月28日	畦地梅太郎	伊予篠山 瓶ヶ森(イヨ) 日光高原
失楽園 風景表現の近代1870-1945	横浜美術館	2004年10月9日～12月12日	ロドルフ・プレスダン	溪谷の流れ
			エドゥアール・マネ	バリケード
			ピエール・ボナール	『パリの生活情景』より「街角」
日本絵画・20世紀の草創	下関市立美術館	2004年11月11日～12月26日	浅井忠	『従征画稿』第1輯～第4輯
2004年度秋季コレクション展 ドイツ・ネーデルラントの近世版画 -マクシミリアン1世の時代を中心に-	東京藝術大学大学美術館	2004年11月13日～2005年1月16日	マルティン・ショーンガウアー	十字架を運ぶキリスト
			アルブレヒト・デューラー	『銅版受難伝』より「十字架を担うキリスト」(ほか1点)
			レオンハルト・ベック	『トイヤーダングの冒険』より「ローマ帝国と名誉帝国(ブルゴーニュ公シャルル勇胆公と女王マリー)」
			レオンハルト・ベック	『皇帝マクシミリアン一世係累聖人図集』より 「聖ヘドヴィヒ」(ほか1点)
			マティアス・ゲールンク	『黙示録』より「力強い天使」(ほか1点)
			ルーカス・ファン・レイデン	マグダラのマリアの踊り

● 2005年展覧会貸出作品

アンテスとカチーナ人形

高松市美術館 2004年7月23日～8月29日
 伊丹市立美術館 2004年10月30日～12月12日
 いわき市立美術館 5月28日～7月3日
 神奈川県立近代美術館葉山館 7月9日～8月28日
 ホルスト・アンテス
 『頭部』(全7点)
 『ホビの年』(7枚組)

滋賀の現代作家展 小林敬生

滋賀県立近代美術館 1月5日～2月13日
 小林敬生
 蘇生の刻 - 白い朝・92-5
 蘇生の刻 - 群舞・94-10D

吉原英雄:ポップなアート

ふくやま美術館 1月14日～3月13日
 吉原英雄
 水族館
 夜のとり
 リトグラフ・ブラック
 Lithograph Black-Rose
 さごめき
 Lithograph Red
 出会い 1
 出会い 2
 カーニバル
 車輪の下
 January
 愛
 朝霧はつめたい
 白いスカート
 GROUND
 二人
 波
 コップとグラス
 アボガド
 テーブルの上のオブジェ・2
 テーブルの上のオブジェ・3
 くつ下を穿く女
 黄ばんだ時刻
 樹の聲・人の聲 - 春 -
 樹の聲・人の聲 - 冬 -

浮世絵・合筆の時代

馬頭町広重美術館 2月10日～3月13日
 【小倉擬百人一首】より
 歌川国芳
 在原業平朝臣
 赤染衛門
 歌川広重
 源重之
 藤原基俊
 三代歌川豊国
 周防内侍
 三代歌川豊国・歌川国久『江戸名所百人美女』より
 永代橋

あさちがはら
 海晏寺
 『江戸紫五十四帖』より
 三代歌川豊国・歌川貞景
 第三 うつせみ
 三代歌川豊国・歌川貞房
 第八 花の宴
 三代歌川豊国・歌川広重『東都高名会席尽』より
 小梅小倉庵 梅の由兵衛
 草加楼 おりゑ
 橋もと 牛若丸
 浅草蔵前 八百やお七
 まつのすし すしや娘お里
 三代歌川豊国・歌川広重
 東源氏雪乃庭

近代錦絵の光芒 - 清親と安治

川越市立美術館 2月19日～3月21日
 小林清親

愛宕山之図
 海運橋 (第一銀行雪中)
 九段坂五月夜
 隅田堤花見図
 御鷹橋之図
 御城内釣橋之図
 江戸橋夕暮富士
 今戸夏月
 新橋ステーション
 千ほんくい両国橋
 川口鍋釜製造図
 川崎月海
 浅草夜見世
 第二回内国勸業博覧会内美術館噴水
 滝の川の図
 池の端花火
 東京橋場渡黄昏景
 東京銀座日報社
 東京小梅曳船夜図
 東京新大橋雨中図
 湯島元聖堂之景
 梅若神社
 品川海上眺望図
 不忍池畔雨中図
 本所御蔵橋
 本町通夜雪
 柳島日没
 両国焼跡
 両国雪中・元両国広小路
 両国大火浅草橋

小倉柳村
 向島八百松楼之景
 井上安治
 浅草橋夕景

近代から現代へ

- 木版画の革新 恩地孝四郎から萩原英雄まで
 山梨県立美術館 2月19日～3月27日
 『一木集』Iより
 恩地孝四郎
 一木集I 表紙
 畦地梅太郎
 苦力の女房

恩地孝四郎
 海の見える窓
 加藤太郎
 四葉
 川西 英
 池ノ畔
 木村版兵
 梅
 杉原正巳
 馬鈴薯の花
 関野準一郎
 扉 (萬鉄五郎エッチング模写)
 恩地孝四郎像
 谷口薫美
 山門
 根市良三
 貝とバラ
 山口 源
 螢
 山口 進
 登山家
 若山八十氏
 一木会 9月会合 似顔絵寄書
 新 緑
 『一木集』IIより
 斉藤 清
 銀座
 守洞 春
 山峡の春
 『一木集』IIIより
 北岡文雄
 事務所 (仮題)
 品川 工
 魚 (仮称)
 山田明代
 常年山
 『一木集』IVより
 稲垣知雄
 卓上
 前川千帆
 石神井三宝池
 『一木集』Vより
 駒井哲郎
 GILKO DE RAIS
 若山八十氏
 ある童話
 一木会 11月会合
 寄書
 関野準一郎
 高浜虚子像
 鳥と少年
 白鳥
 兔と少女
 犬と少年
 吉田穂高
 トーテム・ポール
 古代人・黄
 クルマー黄
 ロドベの白い家
 「ロドベの白い家」多色刷り木版刷り工程

福井良之助版画展

佐倉市立美術館 3月8日～4月10日
高崎市美術館 4月19日～5月22日
岩手県立美術館 6月4日～7月18日
福井良之助
枯れ木
風景
たんぽぽ

ルーヴル美術館所蔵古代エジプト展

名古屋博物館 3月29日～5月22日
福岡市博物館 6月4日～7月18日
東京都美術館 8月2日～10月2日
『エジプト誌』より
扉絵
フィラエ島の神殿内部(想像復元図)
テーベのメムノニウム神殿内部
カルナック宮殿:列柱の間入り口附近の巨像
デンデラの円柱
メンフィスのスフィンクスとピラミッド

植物画の世界

～高知県立牧野植物園所蔵作品を中心に

群馬県立館林美術館 4月16日～6月12日
ショーンズベルガー刊『健康の庭』より3葉
ディンクムート刊『健康の庭』より3葉
ヴェラール刊『健康の庭』より3葉
マッティオリ『ディオスコリデスの薬物書注釈』挿絵
版木と刷り
『フロラーの神殿』より
スノードロップ
ベルシア・シクラメン
ヒアシンスバラ
オーリキュラ
チューリップ
アロエ
ゲットウ
夜の女王
ベニゴウガン
ブルー・パッション・フラワークァ
ドランドラー・パッション・フラワー
白ユリ
カナダユリ
ドラゴン・アルム
スタベリア
アメリカン・カウスリップ
ハナガサシャクナゲ
エジプト・ハス
エジプト睡蓮

りんごの美術展

ひろしま美術館 4月23日～6月5日
競嘔
Fruit in Glass
ジャン・ミニョン
エヴァの誘惑
アルブレヒト・デューラー『小受難』より
楽園追放
人類の墮落

ハンス・ゼバルト・ペーハム
パリスの審判
アルブレヒト・アルトドルファー
人類の墮落

楽しい版画展

笠岡市立竹喬美術館 7月23日～9月4日
稲沢市荻須記念美術館 9月9日～10月23日
畦地梅太郎
山男(3)
白い像
北岡文雄
廃墟(B)
野田哲也
日記:68年8月22日
猪熊弦一郎
『Cercle de la Gravure de Japon』より
パブロ・ピカソ
鳩
イブ・タンギー
棒占い

謎めいた夢

河口湖美術館 7月25日～9月15日
マックス・クリンガー
『手袋』(全10点)
『ドラマ』(全10点)

アジアのキュビズム展

東京国立近代美術館 8月9日～10月2日
徳寿宮美術館(韓国国立現代美術館近代分館)
11月11日～2006年1月30日
シンガポール美術館 2月18日～4月9日
李華編集『現代版画』第二集、第十集

北斎展

東京国立博物館 10月25日～12月4日
葛飾北斎『百人一首姥かゑとき』より
菅家
春道列樹
文屋朝康
大納言経信

YOKAI - 日本のお化け図鑑

パリ日本文化会館 10月26日～2006年1月28日
月岡芳年
『和漢百物語』小野川喜三郎
『新形三十六怪撰』茂林寺の文福茶釜
おもむつら

ユートピアを探しに - 想像力の彼方へ

新潟県立万代島美術館 10月29日～12月11日
ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ
『ローマの古代遺跡』より
古代アッピア街道とアルディアーナ街道の交差点
古代のマルスの競技場

ジョン・マーティン
ミルトン『失楽園』(全24点)
ギユスターヴ・ドレ
ジェロルド『ロンドン巡礼』
ダンテ『地獄篇』より
地獄の門
魂たちの乗船(カロンに追い立てられて舟に乗る魂たち)
肉欲の罪を犯した者たち
パオロとフランチェスカ
復讐の女神エリニユスたち
恩師ブルネット・ラティエニと会話するダンテ
ゲリュオン―欺瞞の象徴
ベルトラン・ド・ボロン
贖金造りたち
地獄の最深部ジュテッカー悪魔大王(ルシファー)
ダンテ『煉獄篇』より
鷲(ダンテの夢)
煉獄の門
サービア
ベアトリーチェ
ダンテ『天国篇』より
水星天(第二天:千余の光明)
太陽天(第四天:12人の魂によって形づくられた二つの輪)
木星天(第六天)
土星天(第七天:黄金の梯)
恒星天(第八天:天国の大合唱)
至高天(第十天:真白の薔薇の形をした祝福されし人々)

誘惑の光景

静岡県立美術館 11月12日～12月18日
ギユスターヴ・ドレ
『失楽園』
『聖書』(全5巻)
ジョン・マーティン
『聖書』(全20点)
ジェームズ・バリー
リア王
ウジェーヌ・ドラクロワ
魔女たちに相談するマクベス
テオドール・シャセリオー
『オセロ』(全16点)

清塚紀子教授退官記念展

愛知県立芸術大学芸術資料館 12月3日～12月11日
清塚紀子
休暇の楽しみ
窓辺
送られてきた風景
風の戯れ
旅行記1-30
水の装置 1984-A
海へ-漂流物 1986-A
航跡 1986-a
厚い壁1-19

2006年貸出し作品の記録

(全17件) 180点

※展覧会名・会場・会期・出品作品(作者名、題名)の順に記載した。

黒の迷宮—凝視の刻—

木下晋・小林敬生・日和崎尊夫

■石川県立美術館 1月4日～2月5日

小林敬生

遺された部屋 No.6-A

漂泊 No.6

蘇生の刻 S62-8

蘇生の刻 飛翔

蘇生の刻 緑の星B

蘇生の刻 白い朝・92-5

饒舌な風景 終章そして序章・B

日和崎尊夫

KALPA 68-B-1

KALPA '69-B

像

誕生(KALPA)

海淵の薔薇4

日本橋絵巻展

■三井記念美術館 1月7日～2月12日

歌川広重 東海道五拾三次・日本橋

プリント・アート—魅せる現代版画展

■横浜市民ギャラリーあざみ野 2月15日～2月26日

岩切裕子 鎌金術師の黄昏

マルク・シャガール

—ラ・フォンテーヌの『寓話』—展

■川村記念美術館 3月21日～6月11日

トマス・ビューイック 『インソップ寓話』

【カリカチュール】紙より

作者不詳 王様を欲しがらる蛙たち

雄鶏と真珠

Ch.-J.トラヴィエス 狐とカラス

J.-J.グランヴィル 熊と園芸の好きな人

『腐蝕銅版画家協会』より

アルベルト・ブレンデル 羊飼いと海

テオフィル・ショーヴェル かえると牛

Le cirque 人生はサーカス!展

■ベルナル・ビュフェ美術館 4月1日～5月30日

ジョルジュ・ルオー 『流れる星のサーカス』(全17点)

東京藝術大学退官記念 中林忠良展

■駒ヶ根高原美術館 4月15日～5月14日

中林忠良

姥捨て(小)

萌ゆる芽(カオスの中から)

根

Nucleusよりの便りIV

磯からの便りII

深き淵より

人碑

1969-1 O氏の肖像のうち 絆I

1969-1 O氏の肖像のうち 絆2

1969-14 異端への傾斜I

1969-15 異端への傾斜II

“白い部屋”より はじめに闇のおそう

剥離される風景III

剥離される風景IV

囚われる風景I

囚われる風景III

囚われる風景VII

囚われる風景VIII

囚われる日々V

囚われる日々VII

暗界の譜

Position '77-1

Position '77-9

Position '77-10

Position '78-1 枝

Position '78-2 枝

Position '80・腐蝕I

Position '80・腐蝕II

Position '90・腐蝕I

イギリスの美しい本

■足利市立美術館 2006年4月22日～6月4日

■郡山市立美術館 2006年6月10日～7月16日

■千葉市美術館 2006年7月22日～8月27日

ウイリアム・ブレイク

ヤング『夜想』より

第一夜扉絵「生と死と不死について」

大天使の奏でるトランペットを聞いて動き出す骸骨

「時」がこの世の住民をなぎ倒す

第三夜扉絵 「ナルシッサ」

「闇」の翼のもと、死の谷の川を流されてゆく魂

第四夜扉絵 キリストの勝利

詩人に天の全能者を讃えよと命ずる「雷」

罪人の最後の瞬間に雷と炎とともに出現する「真実」

トマス・ビューイック

『英国鳥類誌』より額装

モリフクロウ

コマツグミ

ヴィニェット(洗濯物を干している光景)

コウノトリ

ヴィニェット(凧あげ)

『英国鳥類誌』全2巻

『四足獣概説』より額装

ヴィニェット(雨の中をあるく男と犬)

ノヤギ

サーヴァル

オコジョ

ヴィニェット(馬車)

『四足獣概説』

『ゴルドスミス、バーネル詩集』

トマス・ストザード ヤング『夜想』

ローレンス・ハウスマン 『ゴブリン・マーケット』

『妖精の国の最後』

ランドルフ・コルデコット 『コルデコットの絵本』8冊合本

ウォルター・クレイン 『ウォルター・クレインの絵本』

エリナ・ヴィア・ボイル 『終わりのない物語』

ベックラー 『新機械図集』

作者不詳 『阿呆舟』

吹田文明展

■世田谷美術館 4月22日～6月25日

■徳島県立近代美術館 9月2日～10月22日

吹田文明

遠い思い出

日本の民話No.8

広場No.2

歴史

嵐は夜来る

北国の星

銀河

二世五姓田芳柳と近代洋画の系譜

—近代の歴史画の開拓者—

■明治神宮文化館宝物展示室 5月27日～7月2日

渡辺幽香

『大日本帝国古今風俗 寸陰漫稿』

『ジャパニーズ・スタイル』

五姓田義松・画

『佐賀征討戦記』

「MITE!」おかやま展

■岡山県立美術館 7月21日～8月20日

ケーテ・コルヴィッツ

机の前の自画像

アルブレヒト・デューラー

楽園追放『小受難伝』より

アルフォンス・ミュシャ

まじない(『エスタンプ・モデルヌ』より)

亀井藤兵衛

手鏡の自画像

開館10周年記念展

印象派から広がる美術の世界

■浜田市世界こども美術館 7月22日～9月3日

エドゥアール・マネ

ギター弾き

ローラ・ド・ヴァランス

カミーユ・ピサロ

雨の印象

ポントワーズの森の小道

フェリックス・ブラックモン

批評するカササギ

北京・広重の湘南—風景と人物

■茅ヶ崎市美術館 7月25日～9月10日

歌川広重

『東海道五拾三次』より

保土ヶ谷

戸塚

藤沢

平塚

大磯

小田原

箱根

原

吉原

相州江の嶋弁才天開帳本宮岩屋の図

山海見立相撲・相州大山
小倉擬百人一首・源重之
三代歌川豊国・歌川広重
『双筆東海道』より
保土ヶ谷
戸塚
藤沢
平塚
大磯
小田原
箱根

歌川国芳 山海名産尽・相模ノ堅魚
二代歌川広重 箱根七湯一覽
月岡芳年

『大日本名将鑑』日本武尊
『月百姿』小碓皇子 賊巢の月
豊原国周

『善悪三十六美人』竈於菊
梅幸百種・天一坊
市川団十郎 『演芸百番』より
曾我五郎
局岩藤
矢の根五郎
象引
米田グラント氏御通行之繁栄
皇国自漫初陽因雲閣

広重二大街道浮世絵展

■千葉市美術館 9月5日～10月9日
歌川広重 『東海道五拾三次』丸子

北斎と広重ー風景画の二大巨匠

■中山道広重美術館 9月5日～12月3日
葛飾北斎

『百人一首うはかゑるとき』より
天智天皇
持統天皇
柿本人麻呂
山辺赤人
猿丸太夫
中納言家持
安部仲磨
小野小町
参議眞
僧正遍照
在原業平朝臣
藤原敏行朝臣
伊勢
元良親王
貞信公
源宗于朝臣
清原深養父
大中臣能宣朝臣
藤原義孝
藤原道信朝臣
三条院
権中納言定家

NHK 日曜美術館30年展

■東京藝術大学大学美術館 9月9日～10月15日
■京都府京都文化博物館 12月13日～2007年1月21日
フランシスコ・デ・ゴヤ
『戦争の惨禍』より
理由があろうとなかろうと
同じことだ
もう助かる道はない
さらに何をすべきか？
猫のパントマイム

錦絵が語る美濃と飛騨

■岐阜県博物館 9月15日～10月29日
歌川芳艶

『飄軍談五十四場』より
第九 此下宗吉郎再び須股の砦を築く
二十二 春長公蘇鉄の怪異を怒りたまふ
三十五 中沼中兵衛闇夜に道秀を突く

月岡芳年

『和漢百物語』小田春永
『魁題百撰相』より
森蘭丸
森坊丸
森力丸
明智左馬之助
比田帯刀
斎藤内蔵介
羽柴太閤豊臣秀吉公
『大日本名将鑑』織田右大臣平之信長

夢の中の自然展

■群馬県立館林美術館 9月16日～11月26日
加藤太郎 『一木集』Iより 四葉

2007年収蔵品貸出記録

(全20件、248点)

※展覧会名、会場、会期、出品作品(作者、題名)の順に記載した。

時代と美術の多面体

—近代の成立期に光をあてて—

- 神奈川県立近代美術館 2007年1月13日～3月25日
恩地孝四郎 『飛行官能』

シュルレアリスム展 謎を巡る不思議な旅

- 埼玉県立近代美術館 2007年2月21日～3月25日
- 岡崎市美術館 2007年4月8日～5月27日
- 山梨県立美術館 2007年6月2日～7月8日
- 宮崎県立美術館 2007年7月21日～9月2日
- 姫路市立美術館 2007年9月15日～10月28日
ジョアン・ミロ マキモノ

ようこそ! 狸御殿へ

—おもしろき日本のためき表現—

- 滋賀県立陶芸の森 2007年3月17日～6月3日
月岡芳年 新形三十六怪撰・茂林寺の文福茶釜

織田一磨展 都市の記録

- 武蔵野市立吉祥寺美術館 2007年4月3日～5月13日

織田一磨

大阪風景 土佐堀川
大阪風景 高津神社
『都会夜趣』(全4点)
夜(舞妓座像)
新東京風景 新橋演舞場
銀座千疋屋 『画集銀座』第一輯
松屋より歌舞伎座遠望『画集銀座』第一輯
シネマ銀座『画集銀座』第一輯
『画集銀座』第二輯(全6点)
『画集新宿風景』(全6点)
セメント工場風景

澁澤龍彦 幻想美術館

- 埼玉県立近代美術館 2007年4月7日～5月20日
- 札幌芸術の森 2007年8月10日～9月24日
- 横須賀美術館 2007年10月6日～11月11日
※展示替えあり

ハンス・バルドゥング・グリーン

天使たちに天上に運ばれるキリストの亡骸
ヒエロニムス・ボス 五旬節の火曜日
ミハエル・ヴォールゲムト
ヴァルヘルム・プライデンヴルフ

死の図像(シェーデル『年代記』より)

パッチオ・バルディーニ 地獄

アルブレヒト・デューラー

四人の騎者(『黙示録』より)

七つの燭台を見るヨハネ(『黙示録』より)

子羊の前の選ばれし者たち(『黙示録』より)

ユーフラテス河畔の四人の天使(『黙示録』より)

ピーテル・ブリューゲル 二隻のガレー船と軍艦

ジョルジオ・ギージ 人生の愚意

ジャック・カロ 聖アントニウスの誘惑

ルーカス・ファン・レイデン マグダラのマリアの踊り

ジャック＝ファビアン・ゴティエ＝タゴティ

『人体解剖図』より男性背面

『人体解剖図』より骨格図

コルネリス・ホイベルツ

『F.ルイシュ著作集』より2点

アントワーン・ヴァトー シナの皇帝

シナの神仙

パルミジャーノ キリストの埋葬

ジュリオ・ロマーノ ウェヌスとアモール

ガブリエル・ベレール

フローラの泉(『ヴェルサイユ宮殿の庭園』より)

水の劇場(『ヴェルサイユ宮殿の庭園』より)

ジョヴァンニ・パットイスタ・ピラネージ

ティヴォリのエステ荘

ティヴォリの滝

ネロの墓(『グロテスキ』より)

アッピア街道とアルデアティーナ街道の古代交差点(『ローマの遺跡』より)

ゴシック式アーチ(『牢獄』より)

フランススコ・デ・ゴヤ

(『戦争の惨禍』より)

真理は死んだ

結末はこれだ

(『妄』より)

女の妄

大阿呆

飛翔法

飛行の妄

『フローラの神殿』より

ベルシア・シクラメン

バラ

ヒヤシンス

白ユリ

夜の女王

チュールリップ

エジプト睡蓮

エジプト・ハス

マックス・クリンガー

行為(『手袋』より)

救助(『手袋』より)

不安(『手袋』より)

横奪(『手袋』より)

マックス・エルンスト

星の城

『ミスター・ナイフ ミス・フォーク』

『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』

『百頭女』

イヴ・タンギー 棒占い

パウ・クレイ 馬鹿さわざ

アタナシウス・キルヒャー 『シナ図説』

水の情景—モネ、大観から現代まで

- 横浜美術館 2007年4月21日～7月1日

シヨイヒツァー『神聖自然学』

ギュスターヴ・ドレ 『聖書』

J.M.W.ターナー

『イングランドおよびウェールズのピクチュアレスク

な風景』

オウイディウス『変身物語』

(アムステルダム、1674年刊)

ジョン・マーティン

創造(『聖書』より)

洪水(『聖書』より)

ソドムとゴモラの崩壊(『聖書』より)

ルーベンス原画、ホルスヴェルト刻

アエネアスの難船のある風景

ピレモンとバウキスのいる洪水の風景

第81回国展・国立新美術館移転記念展

主催：国画会

- 国立新美術館 2007年5月2日～5月14日

大橋弘明

suite—街—

街—block—

「アジアのキュビズム」パリ展

主催：国際交流基金ほか

- パリ日本文化会館 2007年5月16日～7月7日

『現代版画 第二集』

『現代版画 第十集』

山口進 静物

生誕100年 斎藤清・墨画展

—木版の作家とともに—

- 神奈川県立近代美術館 2007年6月30日～9月17日

斎藤清

凝視

休息

会津の冬70'(12)

会津の冬70'(16)

会津の冬70'(30)

会津の冬70'(31)

会津の冬

銅版画の地平 V 永遠の交響詩

- ミュゼ浜口陽三 2007年7月7日～9月30日

中林忠良

剥離される風景 III

剥離される風景 IV

Transposition—転位—III

清塚紀子

白い日

窓辺

In The Room

送られてきた風景

水の装置 1984—A

日展100年展

- 国立新美術館 2007年7月25日～9月3日
- 宮城県美術館 2007年9月23日～11月4日
- 広島県立美術館 2008年2月19日～3月30日
- 富山県立近代美術館 2008年4月12日～5月18日

織田一磨 セメント工場風景

永瀬義郎 髪

歌川広重没後一五〇年記念

広重が描いた日本の風景

- 神奈川県立歴史博物館 2007年7月28日～9月17日

歌川広重 池鯉鮒(『東海道五拾三次』より)

磯辺行久展

- 東京都現代美術館 2007年7月28日～9月30日

磯辺行久

- 題名不詳(膚)
- 題名不詳(パンドラの箱)
- 作品4(作品'60-30)
- 作品7(作品)
- 作品9(飛び散るもの)
- 作品16(作品)
- 作品18(二つの円)
- 作品20(うごめく)
- 作品26(群れ)
- 作品29[無題]
- 作品30(誕生を囲む群れ)
- 作品33(虹を超えて)
- 作品57(パイロットの夢)
- 作品37[無題]
- 作品39[無題]
- 作品41(作品)
- 作品47(雲と人)
- 作品48[無題]
- 作品50[無題]
- 作品68[無題]
- 作品70
- 作品72(風の中に)
- 作品67
- (サーカス)
- [無題]
- 文字C
- [無題]
- 人
- 人
- 太陽
- (雲)
- 動物
- 虫

美術にみる花火 一広重から現代まで一

- いわき市美術館 2007年8月3日～9月2日
- 重欧堂田善 二州橋夏夜図
- 小林清親 池の端花火

天体と宇宙の美学展

- 滋賀県立近代美術館 2007年10月6日～11月18日
- ギュスターヴ・ドレ
- 第2歌 ウェルギリウスとダンテ(日暮れ)(『地獄篇』より)
- 第34歌 地獄から現れた詩人たち(『地獄篇』より)
- 第9歌 鷺(ダンテの夢)(『煉獄篇』より)
- 第34歌 エリアの馬車に乗り、オランダの失われた正気を探しに、月世界に行く聖ヨハネとアストルフォ(『狂えるオランダ』より)
- J.-J.グランヴィル
- 『もうひとつの世界』
- 流星の大旅行(『もうひとつの世界』より)
- 田中恭吉 冬蟲夏草
- 恩地孝四郎 太陽額に照る(抒情5種のうち)
- 藤森静雄
- 宇宙の流れを我は聞く
- 人の世の想
- 太陽
- 谷中安規 月
- 萩原英雄

- 道化師No.8
- 星月夜No.1
- 砂上の星No.19
- 清宮質文 星占い(去りゆく凶星)
- 深沢幸雄
- 天空を計る
- 月のマークのTシャツ
- 月光劇場
- 吉田穂高
- 星座風景 LANDSCAPE-GEMINI
- 星座風景 LANDSCAPE-CANCER
- 星座風景 LANDSCAPE-LEO
- 星座風景 LANDSCAPE-SCORPIO
- 星座風景 LANDSCAPE-CAPRICORN
- 星座風景 LANDSCAPE-PISCES
- 吹田文明 銀河
- 横尾忠則 聖シャンバラ 空其天
- ロイ・リキテンスティン 月の景観

田園讃歌—近代絵画に見る自然と人間

- 埼玉県立近代美術館 2007年10月27日～12月16日
- 北九州市立美術館 2008年1月2日～2月17日
- ひろしま美術館 2008年2月23日～4月6日
- 山梨県立美術館 2008年4月19日～6月1日
- カミーユ・ピサロ
- 雨の印象
- ボントワーズの森の小道
- 手桶を持つ農婦

Yuasa Jojiによる 湯浅譲二展

- 郡山市立美術館 2007年11月3日～12月16日
- マッタ
- 瞬間
- 爆発が俺の深淵を照らす(『地獄の季節』より No.7)
- 魂はひとつの冠である(『地獄の季節』より No.8)

カオスモス 07

- 佐倉市立美術館 2007年11月1日～2008年1月15日
- 菊池伶司
- 作品
- Records
- Trace
- Trace 1
- Trace 1
- Trace 2
- Trace 3
- Trace 4
- Finger Sample
- Alligator Message
- Lecture
- Writing—Lecture
- 題名不詳
- 題名不詳
- 題名不詳
- 題名不詳
- 題名不詳
- Observer 1
- Observer 2
- Silver Plane

- Writing—Process
- 題名不詳
- Finger Sample

北斎展

- 江戸東京博物館 2007年12月4日～2008年1月27日
- 名古屋市美術館 2008年2月9日～3月23日
- 山口県立萩美術館・浦上記念館 2008年4月5日～5月18日

葛飾北斎

- 『百人一首うはかるとき』より
- 天智天皇
- 持統天皇
- 柿の本人磨
- 山辺の赤人
- 猿丸太夫
- 中納言家持
- 小野の小町
- 参議篁
- 在原業平
- 藤原敏行朝臣
- 菅家
- 源宗于朝臣
- 春道列樹
- 清原深養父
- 文屋朝康
- 大中臣能宣朝臣
- 藤原義孝
- 藤原道信朝臣
- 大納言経信
- 権中納言定家

斎藤寿一展

- 川崎市市民ミュージアム 2007年12月23日～2008年1月27日
- 斎藤寿一
- A Swamp
- 森(A)
- Taki
- 題名不詳
- 題名不詳
- 青い影
- 対話B
- 黄色い風C—風の中のトルソーより—
- 題名不詳3
- 題名不詳1
- 風—ホ
- 宙
- 題名不詳12
- 題名不詳8
- 82 宙
- 宙'85—反核への証し—
- 題名不詳7
- 冬景
- 宙'79
- 題名不詳2
- 題名不詳19
- 題名不詳16
- 題名不詳15
- 宙'87—反核への証し—
- 宙'88—反核への証し—
- 題名不詳4

● 2008年収蔵品貸出記録
(全13件、139点)

※展覧会名、会場、出品作品(作者、題名)の順に記載した。

■北斎展

江戸東京博物館 2007年12月4日～2008年1月27日
名古屋市美術館 2008年2月9日～3月23日
山口県立萩美術館・浦上記念館 2008年4月5日～5月18日
葛飾北斎『百人一首うはかゑるとき』より

天智天皇
持統天皇
柿の本人磨
山辺の赤人
猿丸大夫
中納言家持
小野の小町
参議篁
在原業平
藤原敏行朝臣
菅家
源宗于朝臣
春道列樹
清原深養父
文屋朝康
大中臣能宣朝臣
藤原義孝
藤原道信朝臣
大納言経信
権中納言定家

■江戸の出版仕掛け人 part4 幕末の浮世
絵と絵師たち

たばこと塩の博物館 2008年1月26日～3月9日
月岡芳年『魁題百撰相』より
薄田隼人
堀井恒右エ門
片倉小十郎宗貞
滋野左エ門佐幸村
鳥井彦右衛門元忠
小幡助六郎信世

■シュルレアリスムと写真

東京都写真美術館 2008年3月15日～5月6日
マックス・エルンスト
『百頭女』
『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』
『慈善週間 あるいは7大元素』

■生誕80年 澁澤龍彦回顧展 こちちよいサロン
神奈川近代文学館 2008年4月26日～6月8日
アタナシウス・キルヒャー『シナ図説』

■田園讃歌—近代絵画に見る自然と人間
埼玉県立近代美術館 2007年10月27日～12月16日

北九州市立美術館 2008年1月2日～2月17日
財団法人ひろしま美術館 2008年2月23日～4月6日
山梨県立美術館 2008年4月19日～6月1日
カミーユ・ピサロ
雨の印象
ポントワーズの森の小道
手桶を持つ農婦

■版画の技法と表現

岡山県立美術館 2008年7月18日～8月24日
マルティン・ションガウアー
ピラトの前のキリスト
十字架を担うキリスト
アルブレヒト・デューラー
四人の騎者(『黙示録』より)
十字架を担うキリスト
ビーテル・ブリュエゲル
傲慢
ヘンドリック・ホルツイウス
聖ヨハネのいる聖家族
ジャック・カロ
二人のパンタローネ
聖アントニウスの誘惑
ヤン&カスパール・ルイケン
『職業図鑑』
リチャード・パークス・ボニントン
ルーアンの大時計通り
デヴィッド・ルーカス
サフォークのスタウアー川
フランチェスコ・ゴヤ
彼らはここまでむしり取る(『戦争の惨禍』
より)
結婚の宴(『宴』より)
ジョン・マーチン
ファラオの軍勢の壊滅(『聖書』より)
オノレ・ドーミエ
父親とは生来、馬たることを運命づけら
れているのだ(『パパたち』より)
ルドルフ・プレスダン
善きサマリア人
ケーテ・コルヴィッツ
机の前の自画像

■オランダの版画とモダンデザイン

石川県七尾美術館 2008年8月2日～9月15日
レンブラント・ファン・レイン
アルミニウス派説教師ヤン・アイテンボ
ハールト
聖母の死
道端に三軒の切妻屋根の家のある風景
足のきかない男を癒すベテロとヨハネ
ヤーコブ・ファン・ロイスダール
小さな橋
二人の農夫と犬
丘の上の小屋
ヘルマン・ファン・スワーネフェルト
聖家族のエジプト逃亡途上の休息
①丘の上の小さな天使たち
聖家族のエジプト逃亡途上の休息

②大木と溪流
聖家族のエジプト逃亡途上の休息
③川へと向かう驢馬
聖家族のエジプト逃亡途上の休息
④洞窟
ハンス・フレドマン・ド・フリース
『様々なグロテスク』より1点
『カリアティッド』より4点
ヘンドリック・ホルツイウス
ヘラクレスとテレボス
ベルヴェデーレのアポロン
ピエト・モンドリアン
『12枚のポートフォリオ』
1. 青い木
2. 青のコンポジションB
3. 色面によるコンポジションno.3
4. 線によるコンポジション
5. 明るい色面と灰色の線によるコンポジション
6. 赤、黄、青による格子縞のコンポジション
7. コンポジション、赤、黄、青
8. コンポジション、赤、黄、青
9. コンポジション、赤、黄、青
10. コンポジション、青、黄
11. コンポジション、1935-42
12. ブロードウェイ・ブギウギ

■畦地梅太郎～山の風景から山男へ～

須坂版画美術館 2008年8月28日～10月28日
畦地梅太郎
妙義山
『山岳版画集』全5点
黒姫山
八ツ岳からの富士
浅間山
雪渓(長治郎谷)
ささ山の村3
關志
山男
岳人(ビッケル)
けものを追う人
高千穂の峰(『山の絵本』)
白馬大雪渓(『山の絵本』)
白馬小雪渓(『山の絵本』)
穂高縦走(『山の絵本』)
鳥をいだく
めぐりあい
若者
雪の浅間山
雪の浅間山(下絵)
湿原の花(『山の歌声』)
家族で峠越え(『12のめるへん』)
親子の水
火の山の家族
『山の絵本』
『12のめるへん』
『雲表』4～6号
『みどり』
『雷鳥』
『山百合』14,16号

■線の巨匠たち—アムステルダム歴史博物館所蔵 素描・版画展

東京藝術大学大学美術館 2008年10月11日～11月24日

ジョルジオ・ギージ

ファルネーゼのヘラクレス

アンソニー・ヴァン・ダイク

ヤン・ブリューゲル

レンブラント・ファン・レイン

説教するキリスト（当館寄託品）

ファウスト（当館寄託品）

■素朴美の系譜—江戸から大正・昭和へ—

渋谷区立松涛美術館 2008年12月9日～2009年1月25日

横井弘三

『白と黒』創刊号 風景

露店

露店 豆版4種

川上澄生

郵便脚夫

料治熊太

子供

棟方志功

二菩薩釈迦十大弟子より 羅睺羅

二菩薩釈迦十大弟子より 目健連

作者不詳

帝釈天

■ANIMAL FANTASY イヌイト・アート & 動物たち

北海道立近代美術館 2008年12月9日～2009年1月25日

小林敬生

蘇生の刻 S62-8

蘇生の刻 白い朝 92-5

饒舌な風景 終章・そして序章B

■おらんだの楽しみ方 ～江戸の舶来文物と『蕪録』～

たばこと塩の博物館 2008年12月13日～2009年1月25日

窪俊満

名物革図 印籠 根付 人形手金唐革 葛蒲革

歌川国芳『唐土廿四孝』より

大舜

漢文帝

朱寿昌

張孝・張札

■花の宴・堀切の夢

葛飾区郷土と天文の博物館 2008年12月20日～2009年2月15日

三代歌川豊国・歌川広重

当世六花撰 葛蒲

三代歌川豊国

江戸紫五十四帖 第三 うつせみ

● 2009年 収蔵品貸出記録
(全12件、109点)

※展覧会名、会場、出品作品(作者、題名)の順に記載した。

■ 絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡

北海道立帯広美術館 2009年1月30日～3月25日
札幌芸術の森美術館 2009年4月4日～5月24日
ひろしま美術館 2009年6月6日～7月20日
松本市美術館 2009年8月1日～9月27日
名古屋市美術館 2009年10月24日～12月20日

エドゥアール・マネ

ボードレールの肖像Ⅲ(ナダールの写真による)
猫と花
パリケード

■ 畦地梅太郎展 山のいのち、人のぬくもり

愛媛県美術館 2009年2月14日～3月29日

畦地梅太郎 工人
見附の旧門跡
九段坂
『御荘風景』全3点
黒姫山
甲斐駒
雪溪

■ 大正末・昭和初期の都市文化と商業美術

岡崎市美術博物館 2009年2月14日～3月29日

村山知義 『構成派研究』
牧寿雄 『リノ版画集』
『新希臘派模様』

■ 館林でつつじの絵を—世界一のつつじの名所に全国から
名画を迎えて—

群馬県立館林美術館 2009年4月18日～6月21日

歌川芳艶 『瓢箪談五十四場』より
四三 賤ヶ嶽七本鎗之内佐藤富久知間高名

■ 日常生活—相笠昌義の世界展

茨城県つくば美術館 2009年4月25日～5月24日

相笠昌義 標本収集癖Ⅰ
ベリイベリイビズイ
ラ ファム メタフィジク
進化論
日常生活・こしかける人
少女三人
駅にて・冬陽
アンダルシアの唾の少女
アンダルシアの貧しき少女
踊子ロシオ
髪を結う由美子Ⅰ
民族衣装の由美子A
民族衣装の由美子B
民族衣装の女
山下公園の日曜日
夏、姉弟図
夏の女

地下鉄を待つ人
海水浴をする人
下校時間
皇居・二重橋(日本版画協会『東京百景』収録)
平成相撲図
夏冬こども図
昭和追想・新紙芝居図
橘果を持つ女
象をみる人
駅にて、冬陽Ⅱ

■ 美術館連絡協議会25周年記念「日本の美術館名品展」

東京都美術館 2009年4月25日～7月5日

畦地梅太郎 小名木川附近
恩地孝四郎 音楽
田中恭吉 冬蟲夏草 公刊『月映』Ⅲ
あおそら 公刊『月映』Ⅴ
谷中安規 三人舞(愛の踊り)
蝶を吐く人
長谷川潔 ジロスコープのある静物
時 静物画
浜口陽三 さくらんぼと青い鉢
藤牧義夫 ENOKEN之図

■ 躍動する魂のきらめき—日本の表現主義

栃木県立美術館 2009年4月26日～6月15日
兵庫県立美術館 2009年6月23日～8月16日
名古屋市美術館 2009年8月25日～10月12日
岩手県立美術館 2009年10月20日～11月29日
松戸市立博物館 2009年12月8日～2010年1月24日

岸田劉生 「天地創造」 欲望
「天地創造」 怒れるアダム
「天地創造」 石を噛む人
The Earth
恩地孝四郎 抒情 あかるい時 公刊『月映』Ⅴ
公刊『月映』Ⅵ 表紙
抒情 いとなみ祝福せらる 公刊『月映』Ⅵ
抒情 慈に泪す 公刊『月映』Ⅵ
抒情 真実ひとり輝きめぐる 公刊『月映』Ⅵ
抒情 相信ずるころ 公刊『月映』Ⅵ
抒情 踊る 公刊『月映』Ⅵ
公刊『月映』Ⅶ 表紙
田中恭吉 去勢者と緋罌粟 公刊『月映』Ⅲ
冬蟲夏草 公刊『月映』Ⅲ
あおそら 公刊『月映』Ⅴ
河合卯之助 『伊羅保』(冊子)
『河合卯之助陶画集』タトウ
野葡萄偏壺 『河合卯之助陶画集』1
双禽 『河合卯之助陶画集』4
十葉土耳古青壺 『河合卯之助陶画集』11
青木の花々瓶 『河合卯之助陶画集』20
南瓜花 『河合卯之助陶画集』22
いたとり赤絵 『河合卯之助陶画集』26
岡田龍夫 齊藤秀雄詩集『蒼ざめた童貞狂』

■ 『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術

京都文化博物館 2009年6月6日～7月20日
宇都宮美術館 2009年7月26日～9月6日

ひろしま美術館 2009年9月13日～10月25日
神奈川県立近代美術館 葉山 2009年11月3日～12月20日
アルブレヒト・デューラー

『小受難伝』1扉:苦悩の人キリスト
『小受難伝』6 聖母に別れを告げるキリスト
『マリアの生涯』扉:三日月上の聖母子

原画:ティントレット 版刻:アゴステイーノ・カラッチ
キリストの磔刑

レンブラント・ファン・レイン
アルミニウス派説教師ヤン・アイテンボハールト
聖母の死

道端に三軒の切妻屋根の家のある風景
原画:ペーテル・パウル・ルーベンス 『マリー・ド・メディスの生涯』
代理人によるマリー・ド・メディスとアンリ四世の結婚式
統治の至福

ウィリアム・ニコルソン
『12の肖像』ヘンリック・イブセン
『12の肖像』ジェイムス・マクニール・ホイッスラー

■画家の眼差し、レンズの眼—近代日本の写真と絵画

神奈川県立近代美術館 葉山 2009年6月27日～8月23日
山口進 静物(1926年)
静物(1930年)

■フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール

石川県立美術館 2009年7月24日～8月23日
神奈川県立近代美術館 葉山 2009年9月5日～10月12日
山口県立萩美術館・浦上記念館 2009年10月20日～12月6日
南薫造 畑を打つ〔寄託〕
風景〔寄託〕
アッシジへの道

■オランダデザイン展

佐倉市立美術館 2009年10月27日～12月16日
ピエト・モンドリアン『シルクスクリーン12点のポートフォリオ』全12点

■ロートレックコネクション展 愛すべき画家をめぐる物語

東急文化村 ザ・ミュージアム 2009年11月10日～12月23日
北九州市立美術館分館 2010年1月2日～2月7日
ひろしま美術館 2010年2月13日～3月22日
フェリックス・ヴァロットン

大騒ぎ、あるいはカフェの情景
信頼する人
街頭デモ